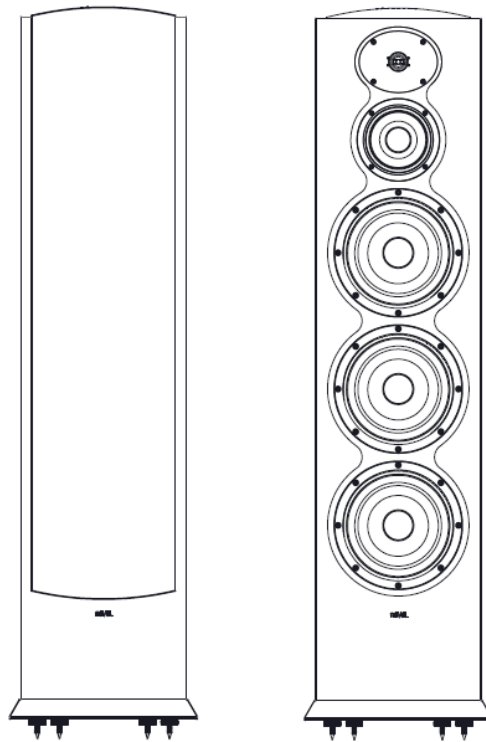


# REVEL®

## PERFORMA Be<sup>4</sup>™

### F328Be スピーカー 取扱説明書



REVEL

## 重要な安全上の注意

1. メーカーによって指定された付属品のみを使用してください。
2. メーカーによって指定された、または装置と同梱されているカート、スタンド、三脚、金具またはテーブルのみを使用してください。カートを使用する場合、転倒によるけがを防ぐため、カートに載せて装置を移動する際には注意してください。
3. 製品の修理は専門の修理業者に依頼してください。電源コードまたはプラグが破損した、装置に液体がこぼれた、または物が落ちた、あるいは装置が雨または湿気のせいで正常に作動しない、または装置を落とした場合のように、装置が何らかの形で破損した場合、修理が必要です。



この商品は絶対に他の家庭ごみと一緒に処分や廃棄をしてはいけません。電気・電子機器は、危険廃棄物のリサイクル用の指定された回収場所に持っていき処分する責任があります。電気・電子機器廃棄物を処分する際に、隔離と適切な回収によって、天然資源の保全に一役買うことができます。さらに、適切な電気・電子機器廃棄物のリサイクルによって、人間の健康や環境を守る事ができます。電気・電子廃棄物の処分、回収、回収場所に関する詳しい情報は、現地の役所、家庭ごみ処理サービス、機器を購入した店または製造者に問い合わせてください。

## WEEE 警告

2014年2月14日にEU法として施行されたWEEE指令(Waste Electrical and Electronic Equipment)は使用が終了した電子機器の取り扱いに大きな変化をもたらしました。

この指令の最優先目的は、電子機器の廃棄を回避する事です。次に、廃棄物を減らすために廃棄物の再利用、リサイクル、その他の形式の回収を促す事です。商品や箱に掲載されている、電気・電子機器の回収を意味するWEEE指令のロゴは、下図のように車輪にバツ印の付いたゴミ箱で構成されています。

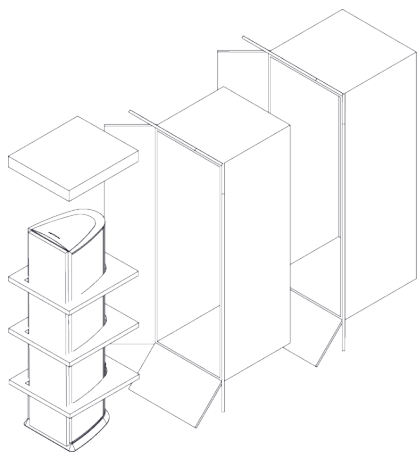
## ROHS コンプライアンス

この製品は、電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する2015年3月31日の欧州議会及び理事会指令2011/65/EU および (EU) 2015/863 に準拠しています。

## 目次

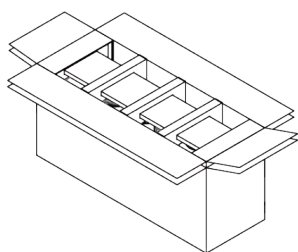
<b>F328Be を箱から取り出す</b> .....	<b>3</b>
<b>REVEL PERFORMABe について</b> .....	<b>4</b>
主な特長.....	4
<b>F328Be の概要</b> .....	<b>4</b>
<b>設置時の留意点</b> .....	<b>4</b>
スピーカーの設置.....	5
高さ調整可能なスパイク.....	5
リスニングルームの音響特性.....	5
音響処理素材.....	5
<b>接続する</b> .....	<b>6</b>
スピーカー端子.....	6
適切な極性を守る.....	6
スピーカーケーブル.....	6
最低ケーブル太さ.....	6
F328Be.....	6
シングルワイヤー接続.....	6
バイワイヤー接続.....	7
縦向きバイアンプ接続.....	7
横向きバイアンプ接続.....	7
<b>パフォーマンスの最適化</b> .....	<b>8</b>
ポートプラグ.....	8
スピーカーの音量.....	8
<b>スピーカーのお手入れ</b> .....	<b>9</b>
グリル.....	9
F328Be.....	9
キャビネット仕上げ.....	9
<b>仕様</b> .....	<b>9</b>
<b>限定的保証</b> .....	<b>9</b>

## F328Be を箱から取り出す

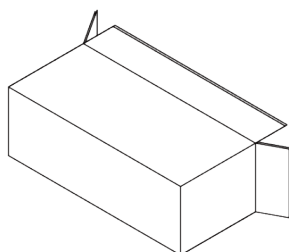


以下のイラストの順にF328Beを箱から出してください。

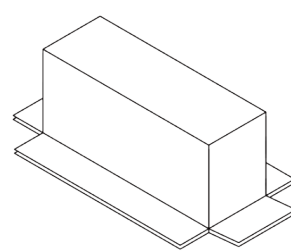
ステップ1



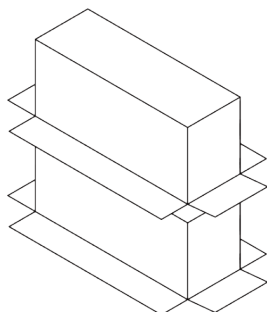
ステップ2



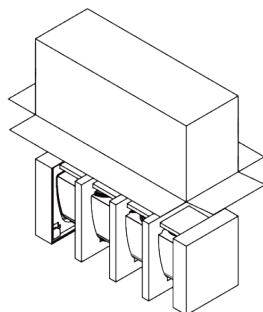
ステップ3



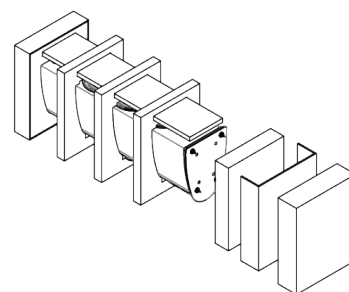
ステップ4



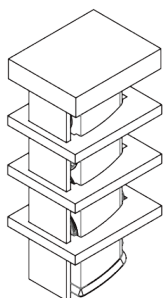
ステップ5



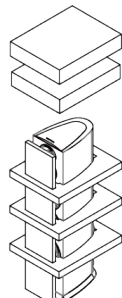
ステップ6



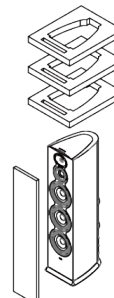
ステップ7



ステップ8



ステップ9



# REVEL PERFORMABe について

## 主な特長

- ベリリウムドームツイーター
- 第6世代アコースティックレンズウェーブガイド
- ディープセラミックコンポジット (DCC™) コーンミッドレンジおよびウーファー
- 最小限のダイナミックコンプレッションによる広い帯域幅とダイナミックレンジ
- フィルムコンデンサーおよび空芯コイルを備えた高次クロスオーバーネットワーク
- プレミアムハイグロス仕上げ: ブラック、ホワイト、ウォールナット、メタリックシルバー

Revel PerformaBe スピーカーをお買い上げいただきありがとうございます。この真のフルレンジスピーカーは可聴周波数域にわたる広い周波数帯域、圧縮されていないダイナミックレンジ、低歪みの魅力的な組み合わせを実現しています。

ツイータードームの素材はピュアベリリウム (Be) です。これは非常に希少性の高い金属で、理想的なツイーターを実現するために必要と多くの特性を備えた素材です。ベリリウムは極端に低質量 (アルミニウム、チタニウム、ダイヤモンドの重量の約半分) で、最高でアルミニウムやチタニウムの 4.5 倍の硬度があり、40kHz までの、優れた高周波の伸びと解像度を生み出します。また、高い熱伝導性により、信頼性も高く、ボイスコイルの冷却もしやすくなっています。この新しく開発されたツイーターは、PerformaBe クラスに近いこのスピーカーに対しても、明白な新しいスタンダードとなっています。ツイーター一体型第6世代アコースティックレンズウェーブガイドは画期的な数学的アプローチに基づいています。このアプローチにより、クロスオーバー領域でのミッドレンジドライバーにツイーターの音の広がりが正確にマッチしています。そのため、このスピーカーは極めて広いリスニング領域にわたって、非常にスムーズなサウンドになっています。部屋にいる、複数のリスナーに与えるリアルなイメージングに大いに貢献しています。さらに、並外れたウェーブガイドが実質的に、クロスオーバーレンジを上回る周波数でツイーターの音の広がりを増強しています。Revel PerformaBe の低域と中域用のドライバーの特長は、新たに開発されたディープセラミックコンポジット (DCC) コーン技術です。DCC 処理したアルミニウムコーンは、コーンの両側にディープなセラミックの層を結合させるために、強いプラズマ放電にさらされます。これが、コーンに未処理のアルミニウムをはるかに超えた堅牢性と制振性を与えます。DCC 技術はコーンの共振を減少させ、理想的なピストンモーションをもたらします。その恩恵は純度が高くディテールまで再現されたミッドレンジを一聴すれば明らかです。アルミニウム鋳造で作られたスピーカーフレームによって、多くのスピーカーで問題になる共振を徹底的に排除します。PerformaBe シリーズのバスレフポートは両サイドが優美な流線形にデザインされたフレアー形状で、理想的な空気の流れを実現しています。これによりダイナミックコンプレッションとポートノイズが大幅に抑制され、低歪みの低域再生パフォーマンスが保証されます。

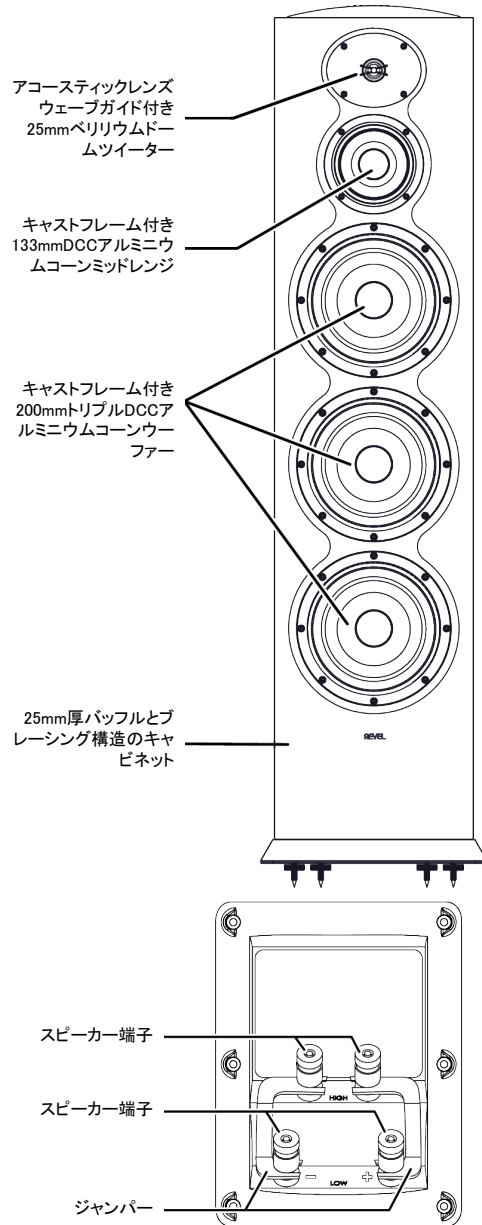
キャビネットはフラッグシップモデルである Ultima2 シリーズの多くの技術を引き継いでいます。ラウンドしたカーブでのみ構成されたキャビネットは従来型の角のあるものよりも高い剛性を誇ります。キャビネットウォールは素材の共鳴を抑える、切れ目のない木の層で成形されています。また、効果的に配置されたブレース (梁) によってキャビネットが発生する不要な音のカラレーションを巧みに制御します。この美しくモダンなキャビネットの仕上げはアメリカンウォールナットまたは高光沢のブラック、ホワイト、メタリックから選択可能で、その工程はイタリアの家具メーカーにより開発・管理されたもので自動車の品質基準をも凌駕する非常に高品質なものです。スピーカーのグリルは完璧な三次元イメージングを維持するため、回折を最小限にするように設計されています。グリルの装着はマグネット方式なので、グリルを外した際にも常にクリーンで洗練された外観デザインを楽しむことが可能です。グリルを着けても外しても、PerformaBe は常に清潔で洗練された外観になっています。

Revel Performa Be のクロスオーバーネットワークは慎重に選択されたコンポーネントを特長としています。そのため、卓越したパフォーマンスと基準設定値になっています。これらの高次クロスオーバーネットワークは歪みとダイナミックコンプレッションを劇的に減少させ、非常に広いダイナミックレンジにわたって同じクオ

リティーを維持し、クリアなサウンドを実現しています。これらの高精度なネットワークが音楽の持つ音色の精度を高め、それによりスピーカーの軸上にいるリスナーだけでなく部屋の中にいるすべてのリスナーが音楽の喜びを味わえる助けとなります。Revel が設計したスピーカー端子は重厚な金メッキ仕上げで、連結構造によって Y ラグを使用する際に確実な接続が可能です。フロアスタンディング型の F328Be には、2 組のスピーカー端子が付いています。これが、スピーカーのバイワイヤーまたはバイアンプ接続を可能にしています。

我々のユニークな開発プロセスとして、専用のラボで行われる最新の音響心理学によって有用性が証明されているダブルブラインドリスニングテストがあります。全ての Revel のスピーカーは開発プロセスにおいて、必ずこのブラインドテストを競合モデルと行いその優位性が確かめられてからお客様へお届けされるのです。

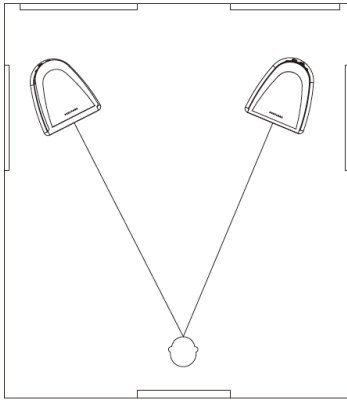
## F328Be の概要



## F328Be の入力プレート

## 設置時の留意点

スピーカーの忠実度は次の 3 つの要素によります。スピーカーの精度、スピーカーの設置、リスニングルームの音響特性です。スピーカーの設置とリスニングルームの音響特性の試行が、スピーカーのパフォーマンスに最も大きく影響します。



## スピーカーの設置

以下は、全モデル向けの重要なスピーカー設置時の注意点です。

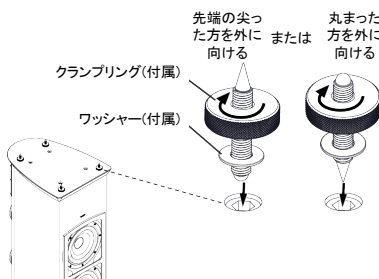
- スピーカーと基本的なリスニングポジション間の全ての障害物をどけてください。例えば、スピーカーと基本的なリスニングポジション間のコーヒーテーブルは音を反射し、ステレオイメージングと音質を劣化させます。大きな物体の近くにスピーカーを設置すると、好ましくない音の反射が生じることもあります。
- ステレオイメージングを最高にするためには、この文章の一番上のイラストにあるように、両スピーカーが基本的なリスニングポジションから同じ距離になり、側壁からも同じ距離になるようにスピーカーを設置してください。
- 最適なステレオイメージングと音質にするには、上のイラストにあるようにスピーカーをまっすぐに基本的なリスニングポジションに向けてください。ステレオサウンドステージを拡張したい場合は、スピーカーがまっすぐ前を向く位置までトーン角度を変えることができます。
- スピーカーをリスニングルームの正面の壁と両側の側壁からさらに離すと、ステレオイメージングとリスニングスペースの開放感が改善されます。
- スピーカーをリスニングルームの隅または壁に近づけると、低音レベルが増大します。

## 高さ調整可能なスパイク

F328Be スピーカーにはそれぞれ高さ調整可能なスパイクが4つ同梱されています。スピーカー底部にこれらのスパイクを取り付けることで、タイル、硬材、またはカーペットを敷いた床に安定して設置することができます。

スパイクの取り付けと調整:

1. 柔らかいタオルまたはカーペットを敷いた床にスピーカーの側面を下にして置く。
2. スピーカー底部の接続金具にスパイクをねじ込む。スパイクは、先端の尖った方が丸まった方のどちらかがキャビネットから突き出るように取り付けることができます。



**注:** スパイクを付けた F328Be を移動させる場合は、床の上を引きずらないでください。

- スピーカーをカーペットを敷いた床に置く場合は、スパイクの先端の尖った方がキャビネットから突き出るように設置してください。
- スピーカーを木、フローリング、またはタイルの床に置く場合は、スパイクの丸まった方がキャビネットから突き出るように設置してく

ださい。スピーカーの最終的な設置場所が決まれば、床面に傷がつかないようにするため、スパイクの下にコインを置か、またはスパイク受けを使うことができます。

**注:** キャビネットから先端の尖った方が突き出るようにスパイクを設置したい場合は、床面に傷がつかないようにするため、スパイクの下にコイン、または同様の物を置く必要があります。

3. 固定リングを時計回りに回して、スパイクをキャビネットにしっかりと固定します。スピーカーが床の上の適切な面に置かれている場合、正しくバランスを取るため、4つ全てのスパイクの固定リングをはめ込んでいることをご確認ください。

**警告:** F328Be のようなフロアスタンディング型スピーカーは重心が高く、傾けたり、または不適切に置くと、倒れる原因になることがあります。倒れるのを防ぐには、本棚、ウォールユニット、その他の家具と同じ手順と金具を使用して、床や壁にスピーカーを固定してください。ハーマンインターナショナルインダストリーズ株式会社 (HARMAN International Industries, Inc.) は金具の適切な選択と取り付け、または不適切な設置や落下したスピーカーから生じる人体の損傷または製品のダメージに責任を負わないものとします。

## リスニングルームの音響特性

リスニングルームはサウンド、特に低めの周波数に大きく影響します。実際、リスニングルームの効果は約 400Hz 以下のサウンドに影響を及ぼす可能性があります。理想的なリスニングルームは最適な寸法比になっており、部屋の共鳴効果を抑えます。しかし実際は、大部分のリスニングルームは、スピーカーのパフォーマンスを高めるように設計されてはいません。

スピーカーとリスニングルーム間の相互作用は複雑です。そして、スピーカーとリスナーに影響を及ぼす 2 つの重要な決定要素があります。

- 部屋の壁・床や梁が、低周波特性での大きなピークとディップの原因となるがよくあります。
- 全ての部屋は、少なくともある程度は定在波(ルームモードまたは共鳴)の影響を受けています。定在波は、大きな低周波特性の異常を生み出します。バースラウドネスは部屋の別の場所では、+または-12dB がそれ以上異なる可能性があります。

残念ながら、これら 2 つの要因の両方に対応する、シンプルな解決策はありません。片方、または両方の要因を分析しているコンピューターソフトウェアプログラムでさえ、通常の適切なリスニング位置、またはスピーカーの配置の重要性を計算することはできません。

ほとんどの場合、スピーカーの適切な設置を伴う通常のリスニング位置の適切な選択により、低めの周波数で優れたパフォーマンスが得られます。上質の結果と良くない結果との差は通常のリスニング位置、またはスピーカーの設置のわずかな調節の差であることが多いです。サポートについては、Revel 認定販売店にお問い合わせください。

## 音響処理素材

Revel PerformaBe モデルの特長は高次フィルターです。これは、スピーカーの軸上および軸外のレスポンスを最適化します。さらに、過剰に「ライブ」な部屋(床に音響が反射する部屋)で起こる音の劣化を抑えます。リスナーの多くは、この反射を減少させるため、部屋の主な反射ポイントに音響処理素材を敷きます。最も重要な位置は、正面の壁と両側の側壁上で最初に反射するポイントです。背面壁の最初の反射ポイントに広帯域の音響吸収・拡散体を置くことができます。

**注:** 吸収素材の選択肢は数多くあります。しかし、安価なファイバーグラスに勝る物はありません。スピーカーのスペクトル感度が変わるのを防ぐには、最低 10cm の厚さの吸収材を使用することが重要です。成形された発泡体を使用する場合、その吸収材は手を加えていない発泡体よりも効率が悪いので、最低で 20cm の厚さが必要です。

リスナーの目と耳は同一面にあるので、「ミラーメソッド」が最初の反射ポイントの正確な決定要因になります。このメソッドは両側の側壁、背面壁、正面の壁、そして天井でも、反射ポイントを決定するために使用することができます。両方の側壁に音響処理素材を貼るのが最も重要で、天井、正面の壁、背面壁はその後です。



ミラーメソッドを用いて反射ポイントを決定するには:

1. いったんスピーカーを置いたら、通常のリスニング位置に座って他の人に、リスニングルームの壁に沿ってミラーをスライドさせるように頼んでください。
2. 通常のリスニング位置から、ミラーにどちらかのスピーカーが見える位置をメモします。必ず、各部屋の壁で両方のスピーカーが反射する位置を探してください。そこが、音響処理素材が必要な反射ポイントです。

音響処理素材が使えない場合は、反射ポイントにカーペットをつるせば、過剰に「ライブ」な部屋の音の劣化を減少させるのに役立ちます。スピーカーと通常のリスニング位置との間の床面にカーペットを敷いたり、最初の反射ポイントに本箱のようなでこぼこの面になった家具を置くのも、強い反射音を抑えるのに役立ちます。

## 接続する

**警告:** 接続する際は必ずすべての機器の電源が入っていない状態で行ってください。

### スピーカー端子

この金メッキ端子により、パワーアンプからの接続が可能になります。そして、バナナプラグ、Yラグ、ピンコネクタ、または裸線に対応して終端処理されたスピーカーケーブル用の確実な接続を実現します。

### 適切な極性を守る

アンプの陽電極 (+) 端子を対応するスピーカーの陽電極 (+) 端子に接続してください。アンプの負電極 (-) 端子を対応するスピーカーの負電極 (-) 端子に接続してください。接続時に、極性を逆に (すなわち、「+」を「-」にまたは「-」を「+」に接続) しないでください。これは、貧弱なステレオイメージングと低音域レスポンスの低下の原因になります。

### スピーカーケーブル

各ワイヤーを通すため、合計の最大ループ抵抗が 0.07Ω またはそれより小さい、高品質のスピーカーケーブルを使用します。使用する適切なケーブルの太さを決定するには、次の表をご参照ください。

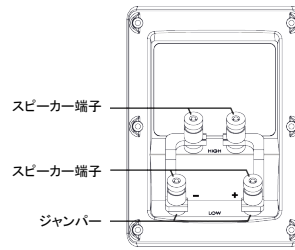
### 最低ケーブル太さ

最大ケーブル長さ (フット)	最大ケーブル長さ (メートル)	最小ワイヤーゲージ (AWG)
87 未満	27 未満	6
69 未満	21 未満	7
58 未満	18 未満	8
43 未満	13 未満	9
34 未満	10 未満	10
27 未満	8 未満	11
22 未満	7 未満	12
17 未満	5 未満	13
14 未満	4 未満	14
11 未満	3.5 未満	15
9 未満	3 未満	16
7 未満	2 未満	17
5 未満	1.5 未満	18

**注:** インピーダンス (各ワイヤーを通すための) が 0.07Ω を超えると、スピーカーのフィルターネットワークが誤った終端処理をして、サウンドクオリティーが相当劣化することになります。

### F328Be

F328Be には、高周波用のスピーカー端子が 1 組、低周波用のスピーカー端子が 1 組付いています。工場出荷時は、1 組のジャンパー (次の図をご覧ください) が接続されています。2 組のスピーカー端子はシングルワイヤー、バイワイヤー、またはバイアンプ接続用に設定することができます。追加情報については、このページの手順と、10 ページを通してお読みください。



### F328Be スピーカーに接続する前に、以下のことにご注意ください:

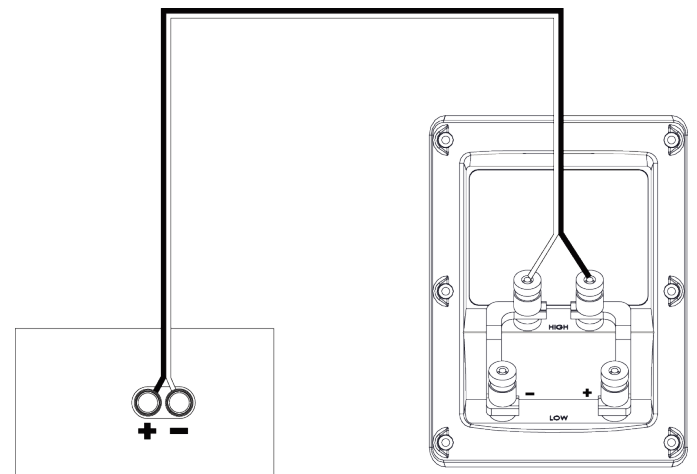
- 標準的な接続方法では、シングルスピーカーケーブルを使用します。F328Be は 2 組のスピーカー端子を備えており、バイワイヤリングまたはバイアンプ接続が可能です。Revel はこれら以外の接続方法を推奨してはませんが、お望みなら追加の接続オプションも利用可能です。このスピーカーの設計は非常に優れているので、標準的な接続方法を使って最適なパフォーマンスを実現することができます。
- 縦向きバイアンプ接続(以下をご覧ください)は、同一のパワーアンプで行う必要があります。横向きバイアンプ接続(以下をご覧ください)は同じゲイン係数の同一、または異なるパワーアンプで行うことができます。
- バイアンプ接続をする場合、両方のパワーアンプで、つないだプリアンプから同一の入力信号を受信する必要があります。つないだプリアンプで、出力チャンネルごとに 2 つのコネクタが使用できる場合は、プリアンプの同じ出力チャンネル用のセパレートコネクタに各パワーアンプを接続することができます。つないだプリアンプで、出力チャンネルごとに 2 つのコネクタが使用できない場合は、「Y」アダプターが必要です。
- どの接続方法を選択しても、左右のスピーカー用に使用するスピーカーケーブルは常に同じ長さにする必要があります。
- F328Be をお持ちのパワーアンプに接続する前に、パワーアンプ部品の適合性についての情報など、必要な場合は Revel の認定販売店にお問い合わせください。
- 全ての付属したオーディオ部品があることを取扱説明書で再確認し、正しい接続手順を理解してください。

**注:** Revel F328Be スピーカーをバイアンプ接続する際は、電子クロスオーバーネットワークを使用しないでください。相当なサウンドクオリティーの劣化の原因になります。

### シングルワイヤー接続

**注:** スピーカー端子間のジャンパーを取り外さないでください。

シングルワイヤー接続が最も一般的です。これは、下に示されているように、F328Be のスピーカー端子 1 組とパワーアンプ出力チャンネル 1 系統を接続します。



アンプ  
(1チャンネル表示)

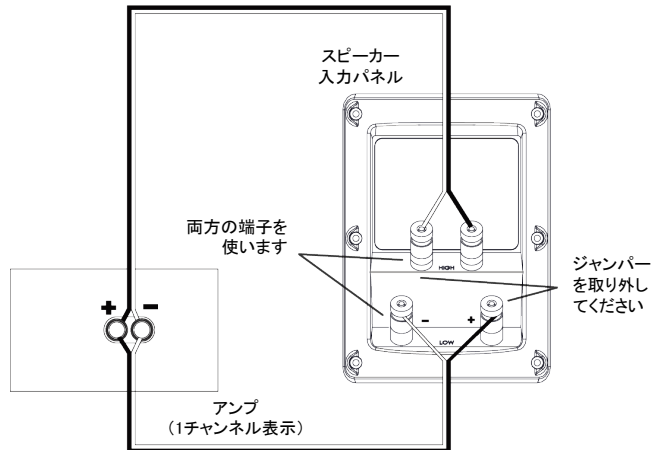
シングルワイヤー接続を行うには:

1. お好きな F328Be スピーカー端子 1 組に 1 本のスピーカーケーブルを接続します。(高域用の「高」スピーカー端子を推奨します。)次に、スピーカーケーブルのもう一方の端をお好みのパワーアンプ出力チャンネルに接続してください。
2. ステップ 1 を繰り返し、パワーアンプの残りの出力チャンネルに、2 台目の F328Be を接続します。

### バイワイヤー接続

**警告:** バイワイヤー接続をする前に、ジャンパーを取り外してください。ジャンパーを外さずバイワイヤー接続して使用すると、パワーアンプの損傷の原因になることがあります。

バイワイヤー接続は 2 組のスピーカーケーブルを使用し、以下に示されているように、シングルパワーアンプ出力チャンネルに 2 組の F328Be スピーカー端子を接続します。



1. ジャンパーを取り外します。
2. 高周波の F328Be スピーカー端子 1 組に 1 組のスピーカーケーブルを接続します。次に、スピーカーケーブルのもう一方の端をお好みのパワーアンプ出力チャンネルに接続してください。
3. 低周波の F328Be スピーカー端子 1 組に別のスピーカーケーブルを接続します。次に、スピーカーケーブルのもう一方の端を、ステップ 2 で接続した同一のパワーアンプ出力チャンネルに接続してください。
4. ステップ 1、2、3 を繰り返し、パワーアンプの残りの出力チャンネルに、2 台目の F328Be を接続します。

### 縦向きバイアンプ接続

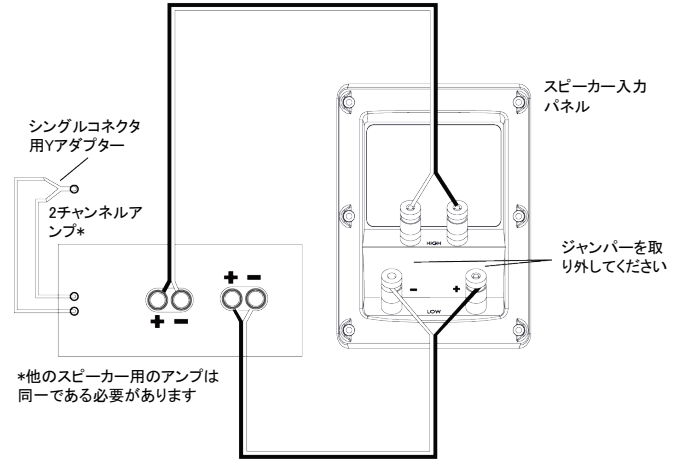
**警告:** バイアンプ接続をする前に、ジャンパーを取り外してください。ジャンパーを外さずバイワイヤー接続して使用すると、パワーアンプの損傷の原因になることがあります。

縦向きバイアンプ接続は、2 組の F328Be スピーカー端子とシングルパワーアンプの 2 組のセパレート出力チャンネル間で行います。それぞれの F328Be スピーカーは別個のパワーアンプに接続されており、それが時々音響パフォーマンスを増幅させる可能性があります。2 台のスピーカー用のパワーアンプは同一でなければなりません。

#### 注:

- 縦向きバイアンプ接続は各スピーカー用に 1 台ずつ、2 台の同一機種のパワーアンプを使用して行う必要があります。
- 縦向きバイアンプ接続をする場合、両方のパワーアンプチャンネルで、つないだプリアンプから同一の入力信号を受信する必要があります。つないだプリアンプで、各チャンネル用に 2 本の出力端子がない場合は、「Y」アダプターが必要です。

プリアンプ (1チャンネル表示)



1. ジャンパーを取り外します。
2. 高周波の F328Be スピーカー端子 1 組に 1 組のスピーカーケーブルを接続します。次に、スピーカーケーブルのもう一方の端をお好みのパワーアンプ出力チャンネルに接続してください。
3. 低周波の F328Be スピーカー端子 1 組に別のスピーカーケーブルを接続します。次に、スピーカーケーブルのもう片方の端を、高周波スピーカー端子に接続した同一のパワーアンプの別の出力チャンネルに接続します。
4. 両方のアンプチャンネル入力をシングルプリアンプチャンネルの出力に接続します。プリアンプにチャンネル用のコネクタが 1 つしかない場合、「Y」アダプターを使用します。
5. ステップ 1、2、3 を繰り返し、別個の同一機種パワーアンプに、2 台目の F328Be を接続します。ステップ 4 を繰り返し、プリアンプのその他のチャンネルに、2 台目のアンプを接続します。

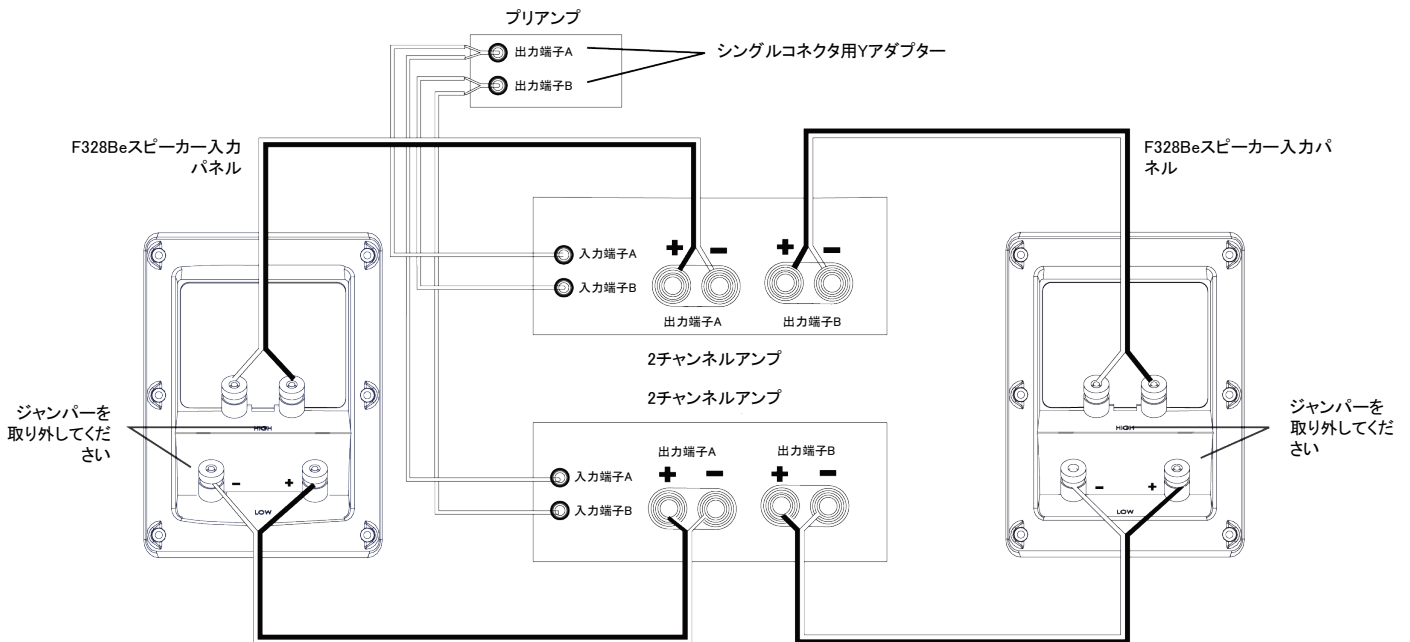
### 横向きバイアンプ接続

**警告:** バイアンプ接続をする前に、ジャンパーを取り外してください。ジャンパーを外さずバイワイヤー接続して使用すると、パワーアンプの損傷の原因になることがあります。

2 台のパワーアンプは同一機種、または同一機種でない可能性もありますが、ゲイン係数は同一にする必要があります。ゲイン係数が同一でない場合、アンプのうち最低 1 台は入力レベルを調整する方法を備えている必要があります。サポートについては、Revel 認定販売店にお問い合わせください。

横向きバイアンプ接続は、2 組の F328Be スピーカー端子とセパレートパワーアンプの 2 組の異なる出力チャンネル間で行います。F328Be の高周波スピーカー端子 1 組を 1 台のパワーアンプに接続します。また、F328Be の低周波スピーカー端子 1 組はもう 1 台のパワーアンプに接続します。

**注:** 横向きバイアンプ接続をする場合、両方のパワーアンプで、つないだプリアンプから同一の入力信号を受信する必要があります。つないだプリアンプで、各チャンネル用に 2 本の出力端子がない場合は、「Y」アダプターが必要です。



1. ジャンパーを取り外します
2. 高周波の F328Be スピーカー端子 1 組に 1 組のスピーカーケーブルを接続します。次に、スピーカーケーブルのもう一方の端をお好みのパワーアンプ出力チャンネルに接続してください。
3. 低周波の F328Be スピーカー端子 1 組に別のスピーカーケーブルを接続します。次に、スピーカーケーブルのもう一方の端を、別のパワーアンプにあるお好きな出力チャンネルに接続してください。

4. ステップ 2 を繰り返して、2 台目の F328Be の高周波スピーカー端子 1 組をステップ 2 で接続したパワーアンプの他のチャンネルに接続します。
5. ステップ 3 を繰り返して、2 台目の F328Be の低周波スピーカー端子 1 組をステップ 3 で接続したパワーアンプの他のチャンネルに接続します。
6. 高周波アンプの左右のチャンネル入力をプリアンプの左右出力に接続します。低周波アンプの左右の入力にもこの手順を繰り返してください。プリアンプに各チャンネル用のコネクタが 1 つしかない場合、「Y」アダプターを使用します。

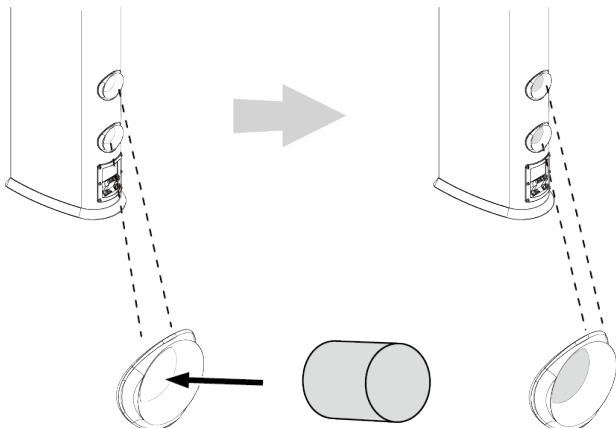
## パフォーマンスの最適化

### ポートプラグ

Revel PerformaBe は、設置環境に合わせてスピーカーの低域パフォーマンスの調節に使用できる、1 組の発泡体ポートプラグを備えています。

スピーカーがエンターテインメントセンターまたはシェリングユニットに組み込まれている、あるいは壁かその他の大きい物体から約 0.61m より近い位置にスピーカーが置かれている場合、スピーカーのポート開口部にポートプラグを挿入すると強すぎるバス出力を低減することができます。このバス出力は、大きな低音エネルギーの反射面にスピーカーが近い時に発生する可能性があります。

ポートプラグをスピーカーのポートチューブの開口部に奥まで十分に挿入します。これにより、プラグの端がポートチューブのフレア部分内部の端に接します。



**警告:** ポートプラグをポートチューブの奥に差し込みすぎないように気をつけてください。スピーカー内部に落ちることがあります。

### スピーカーの音量

Revel PerformaBe シリーズスピーカーに採用された高次フィルターは、帯域外周波数によるドライバーの損傷のリスクを減少させる、急激なカットオフを伴います。慎重に選別されたドライバーとフィルターネットワークを組み合わせることで、PerformaBe の厳しい再生状況下での使用を可能にしています。

しかし、連続再生に関して言えば、全てのスピーカーには限界があります。この限界を超えてしまうのを避けるために、サウンドの歪み、または負担となる音量での再生はしないでください。

**警告:** スピーカーのサウンドが明瞭かつ正確でない場合は、損傷を避けるため、ただちに音量を下げてください。歪んで聞こえる場合は、音量を絞ってください!

いったんスピーカーを設置・接続したら、最初は以下のステップに従って、新しい PerformaBe スピーカーの電源を入れます:

1. 聞き慣れた音楽または映画音源の再生を始めます。
2. 通常のリスニング位置で聴き、ボリュームを快適なレベルまで上げます。
3. 総合的にベストな音のバランス、ステレオイメージの精度、リスニングルームの解放感を再現するため、スピーカーの配置を調整してみてください。スピーカーの設置についての詳細は、5 ページにある設置時の留意点のセクションをご参照ください。



## スピーカーのお手入れ

### グリル

Revel PerformaBe スピーカーはマグネット接着方式のグリルを特長としており、スピーカーバッフルからみっともない取付金具を排除しているので、グリルを外してスピーカーを使用する際にもエレガントな外観です。

### F328Be

F328Be スピーカーのグリルを取り付ける場合、「TOP」のマーク（グリルフレームの背面に型押しされている）がスピーカーキャビネットの上の方向になるようにします

### キャビネット仕上げ

キャビネットの突き板仕上げや光沢仕上げには定期的なメンテナンスが必要ありません。ほこり、指紋、または他の汚れが付いたキャビネットの表面は柔らかい布で掃除することができます。マイクロファイバーの布と高品質カーワックスの使用が望ましいです。ドライバーに触れないように気をつけてください。

- グリルを掃除するには、吸引力を1番低くセットした電気掃除機に柔らかい毛先の掃除用アタッチメントを使用して丁寧に吸引してください。

**警告:** キャビネットを掃除するには、損傷を防ぐため、スチールウール製の布または金属研磨剤は使用しないでください。ドライバーの損傷リスクを防ぐため、直接キャビネットに家具の研磨剤を塗布しないでください

### 警告: ベリリウムツイーターについての警告

ベリリウムのかすは有害物質です。通常の状況では、Revel PerformaBe ベリリウムドームにはいかなるかすも発生せず、破損しない限りは100%安全です。ツイータードームは、アコースティックレンズとウェーブガイドで保護されています。ウェーブガイドが無傷である限り、心配はいりません。万一、何らかの形でドームが損傷したら、プラスチックの粘着テープでツイーターを覆い、カスタマーサポートに連絡して次の指示を受けてください。ツイータードームが損傷している場合、スピーカーで音楽を再生しないでください。

スピーカーの寿命が切れても、ゴミ処分場、または焼却炉には廃棄しないでください。スピーカーは適切なリサイクルセンター、または危険廃棄物の廃棄場に持って行ってください。適切な処分の詳細情報については、カスタマーサポートにご連絡ください。

## 仕様

型:	3 ウェイトリプル 200mm ウーファー搭載 フロアスタンディング型スピーカー
低周波ドライバー:	ダイキャストフレーム 200mm DCC (ディープセラミックコンポジット) アルミニウムコーン
ミッドレンジドライバー:	ダイキャストフレーム 130mm DCC (ディープセラミックコンポジット) アルミニウムコーン
高周波ドライバー:	アコースティックレンズウェーブガイド搭載 25mm ベリリウムドーム
推奨アンプ出力レンジ:	50~400W
周波数特性:	26Hz~40kHz (-6dB)
低周波の可変範囲:	24Hz (-10dB)、26Hz (-6dB)、35Hz (-3dB)
公称インピーダンス:	8Ω
出力音圧レベル (2.83V/1m):	91dB
クロスオーバー周波数:	240Hz、2.1kHz
筐体タイプ:	システム背面にバスレフポート
入力端子:	バイワイヤ接続対応スピーカー端子
寸法 (高さ x 幅 x 奥行、グリル および土台を含む):	1294mm x 341.3mm x 448.5mm
製品重量 (グリルを含む):	約 51.1kg

## 限定的保証

Revel スピーカーに欠陥がある場合は保証されます。保証書の有効期限はこの製品を購入した国の法律によります。お住まいの地域の Revel 販売店で保証書の有効期限と保証範囲を知ることができます。

詳細については、以下のサイトにアクセスしてください：  
[REVELSPEAKERS.COM](https://REVELSPEAKERS.COM)

取扱説明書を他の言語で読むには、[REVELSPEAKERS.COM](https://REVELSPEAKERS.COM) にアクセスしてください。

Veillez visiter [REVELSPEAKERS.COM](https://REVELSPEAKERS.COM) pour obtenir le mode d'emploi en d'autres langues.

Если вам требуется дополнительные версии руководства пользователя на других языках, посетите сайт [REVELSPEAKERS.COM](https://REVELSPEAKERS.COM).

別の言語に対応したユーザーマニュアルを読むには、[REVELSPEAKERS.COM](https://REVELSPEAKERS.COM) にアクセスしてください。

사용자 설명서에 대한 추가 언어 지원은 [REVELSPEAKERS.COM](https://REVELSPEAKERS.COM)에서 확인하십시오  
请访问 [REVELSPEAKERS.COM](https://REVELSPEAKERS.COM) 以获取其他语言版本的用户手册。

Visita [REVELSPEAKERS.COM](https://REVELSPEAKERS.COM) para obtener el manual de usuario de soporte en idiomas adicionales.

Weitere Sprachfassungen der Bedienungsanleitung findest Du unter [REVELSPEAKERS.COM](https://REVELSPEAKERS.COM).

Торговая марка:	Revel
Назначение товара:	Пассивная акустическая система
Изготовитель:	Харман Интернешнл Индастриз Инкорпорейтед, США, 06901 Коннектикут, г.Стэмфорд, Атлантик Стрит 400, офис 1500
Страна происхождения:	Китай
Импортер в Россию:	ООО "ХАРМАН РУС СиАйЭс", Россия, 127018, г.Москва, ул. Двинцев, д.12, к 1
Гарантийный период:	1 год
Информация о сервисных центрах:	www.harman.com/ru тел. +7-800-700-0467
Срок службы:	5 лет
Товар сертифицирован:	<b>EAC</b>
Дата производства:	Дата изготовления устройства определяется по двум буквенным обозначениям из второй группы символов серийного номера изделия, следующих после разделительного знака «-». Кодировка соответствует порядку букв латинского алфавита, начиная с января 2010 года: 000000-MY0000000, где «M» - месяц производства (A - январь, B - февраль, C - март и т.д.) и «Y» - год производства (A - 2010, B - 2011, C - 2012 и т.д.).

## 产品中有害物质的名称及含量

部件名称	目标部件	有害物质或元素					
		铅(Pb)	汞(Hg)	镉(Cd)	六价铬(Cr(VI))	多溴联苯(PBB)	多溴二苯醚(PBDE)
电路板	印刷电路板, 电路板上的电子零件(不包括特定电子零件), 内部相关连接线	X	0	0	0	0	0
箱体	外壳, 面板, 背板等	X	0	0	0	0	0
特定电子零部件	变压器, 保险丝, 大型电解电容, 电源插座	X	0	0	0	0	0
附件	电线, 说明书, 包装等	X	0	0	0	0	0

本表格依据SJ/T 11364的规定编制

0: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T 26572 规定的限量要求以下。

X: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T 26572规定的限量要求。



在中华人民共和国境内销售的电子电气产品上将印有“环保使用期”(EPUP)符号。圆圈中的数字代表产品的正常环保使用年限。

合格证



ハーマンインターナショナルインダストリーズ株式会社 (HARMAN International Industries, Incorporated)  
8500 Balboa Boulevard, Northridge, CA 91329 USA

© 2019 HARMAN International Industries, Incorporated (ハーマンインターナショナルインダストリーズ株式会社)。無断複写・転載を禁じます。

Revel および Revel ロゴは、ハーマンインターナショナル株式会社 (HARMAN International Industries, Incorporated) の商標で、米国および/またはその他の国々で登録されています。

無断複写・転載を禁じます。特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。

弊社製品に関する質問、サポート、または追加情報については次の番号にお電話ください: (516) 594-0300 または (888) 691-4171。テクニカルサポートについては、次のメールアドレスにお問い合わせの詳細を送信してください: [csupport@harman.com](mailto:csupport@harman.com).

REVEL

www.revelspeakers.com



パート No. 950-0573-001